

寒川町共通商品券事業要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、町内において「共通商品券」を扱う事業者(以下「取扱店」という。)について必要な事項を定めるものとする。

(登録資格)

第2条 取扱店として登録できる者は、町において、小売業、飲食業、洗濯、理容、旅館及び医療等の各種サービス業並びに運輸通信業(旅行業を含む。)を営む事業者とする。ただし、大型店は除く。

(登録申込み)

第3条 取扱店としての登録を行おうとする者は、取扱店登録申込書(第1号様式)に事業を現に行っていることを証する書類を添えて、商工会長に申し込まなければならない。

2 商店会等の代表者は、当該会の構成員に代わり前項の規定する登録申込を行うことができる。

(登録)

第4条 商工会長は、前項の規定により登録資格を有した取扱店の登録台帳を作成し、町民に分かりやすい方法で取扱店を公表し、町民に周知を図らなければならない。

(共通商品券の取り扱い)

第5条 取扱店は、共通商品券を持参した者に対し、券面記載額相当の物品の販売、貸付け又は役務の提供を行う。

(換金)

第6条 前項の規定により共通商品券を取得した取扱店は、毎月20日迄に商工会に持参する。

2 共通商品券の換金は、毎月1回、月末に回収換金手数料2%を差引き取扱店へ支払う。

(責務)

第7条 取扱店は、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 取扱店であることが町民に分かるよう、見やすい場所に商工会が交付するステッカーの掲示を行うこと。
- (2) 通常の注意をもってすれば偽造されたものと分かる共通商品券又は大量に持ち込まれる共通商品券等不正に使用されていることが明らかな場合は、受け取りを拒否すること。この場合において、その事実を商工会長に通報すること。
- (3) 共通商品券を受け取った場合は、再流通を防止するため、券裏面に自らの印を押印すること。

(交換、譲渡及び売買の禁止)

第8条 取扱店は、共通商品券の交換、譲渡又は売買を行ってはならない。

(登録の取消し)

第9条 商工会長は、取扱店が、本要綱に違反する行為を行った場合は、当該取扱店の登録を取り消すことができる。

(経費の負担)

第10条 登録の申込み及び共通商品券の取扱いを行うに当たって要する経費は、取扱店の負担とする。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、商工会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成12年8月28日から施行する。